

景観形成方針と基準（景観拠点・景観軸） — 成田市景観計画 —

※この冊子は、景観計画に定める景観形成方針・景観形成基準等のうち、景観拠点及び景観軸のものについて抜粋したものです。

行為を行う場所が属する景観ゾーンの方針、基準と併せて適用されます。

1. 景観形成方針

（1）歴史景観拠点

- 成田の歴史や文化を感じさせる街並み景観を形成し、歴史・文化的資源と調和するよう建築物や工作物、屋外広告物の配置・規模、形態・意匠、色彩及び素材などに配慮します。
- おもてなしの心を大切にしたい道づくりと魅力ある街並みの表情づくりに努めます。
- 歴史・文化的資源や慣習行事を含めた地域の伝統を活かした景観の形成を図ります。
- 視対象となる景観資源のある場合には、良好な眺めに配慮した景観の形成を図ります。

成田の歴史や文化を感じさせる形態・意匠

新勝寺大塔への
眺めに配慮した配置・規模

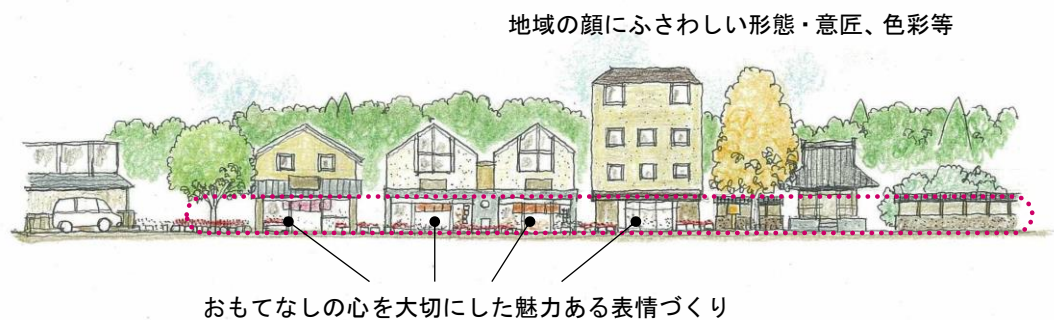
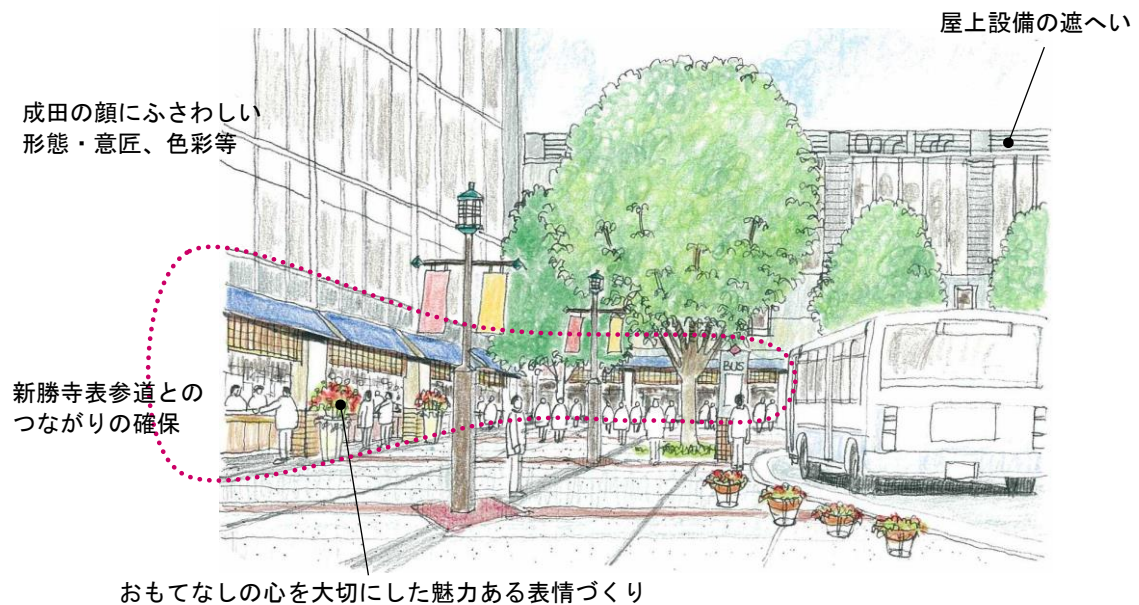


おもてなしの心を大切にしたい
魅力ある表情づくり

気持ちよく安心して歩ける道づくり

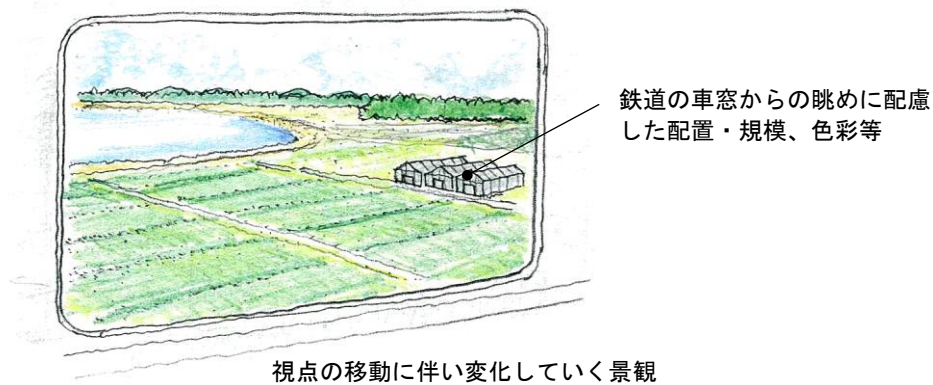
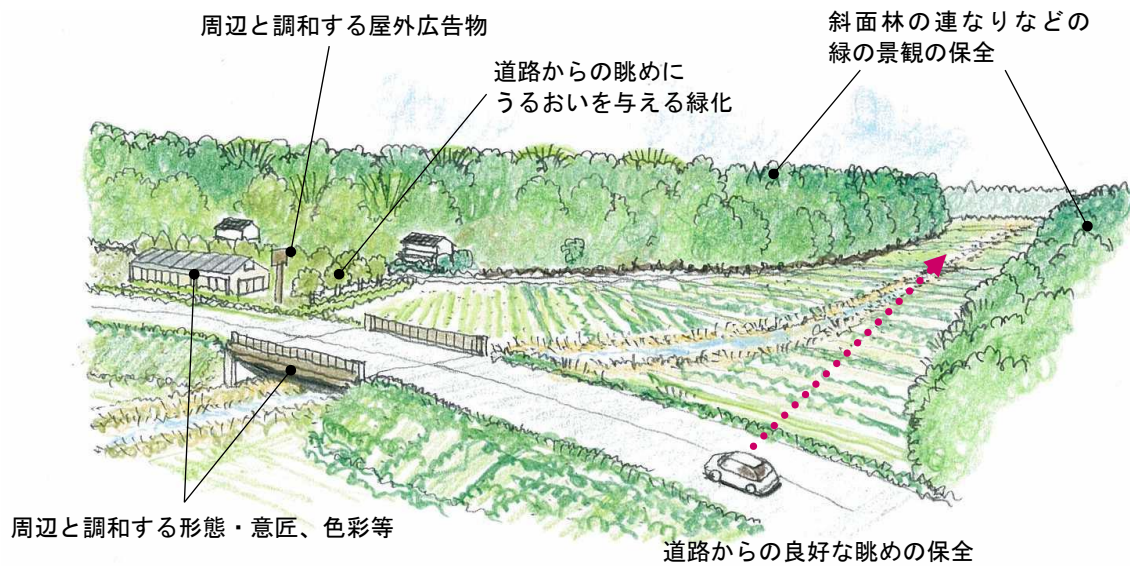
(2) 駅周辺景観拠点

- 建築物や工作物、屋外広告物について、配置・規模、形態・意匠及び色彩などに配慮し、地域の顔にふさわしい表情のある景観の形成を図ります。
- 成田市の玄関口となる成田駅の周辺では、成田山新勝寺表参道へのつながりを意識し、おもてなしの心を大切にした道づくりと魅力ある街並みの表情づくりに努めます。



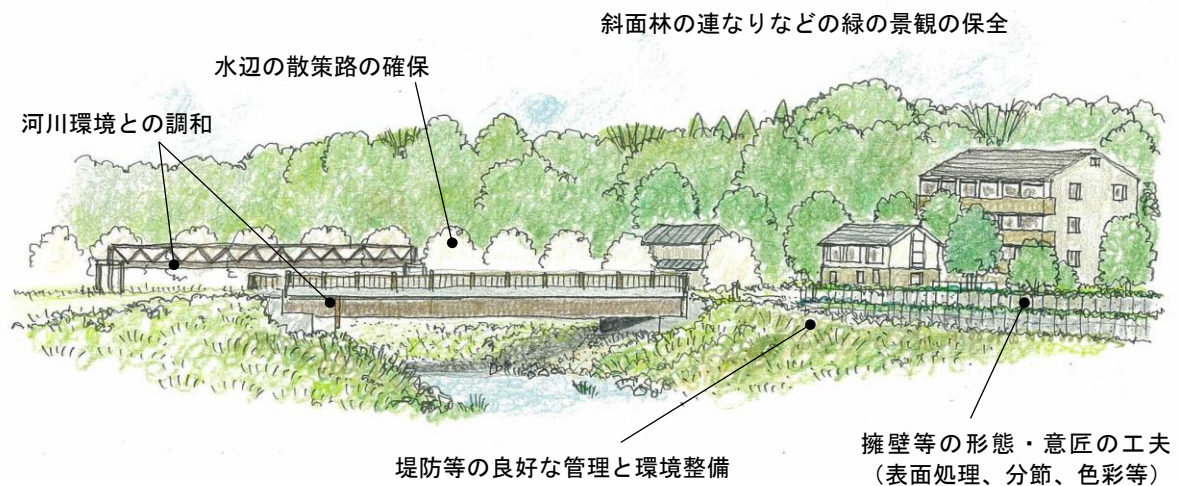
(3)沿道沿線景観軸

- 景観軸となる道路、鉄道などの周辺では、街並みや自然環境に調和するよう建築物や工作物、屋外広告物の配置・規模、形態・意匠及び色彩などに配慮します。
- 構造物などの施設や占用工作物は、周辺の街並みや自然環境と調和した形態・意匠や色彩に配慮します。
- 道路や鉄道が良好な視点となる場合は、視点の場としての整備や管理に努めます。



(4)河川景観軸

- 構造物などの施設や占用工作物は、河川周辺の環境と調和した景観の形成を図ります。
- 河川堤防が良好な視点となる場合は、散策路などの確保や、うるおいを感じられる良好な河川の管理と環境整備に努めます。



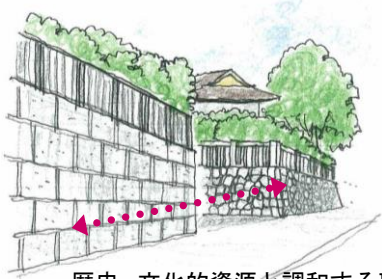
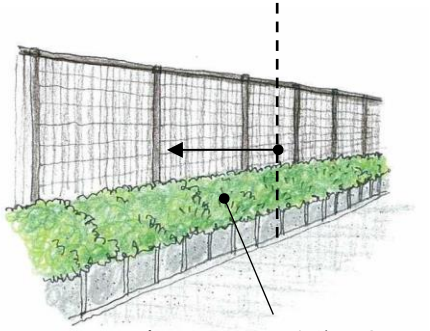
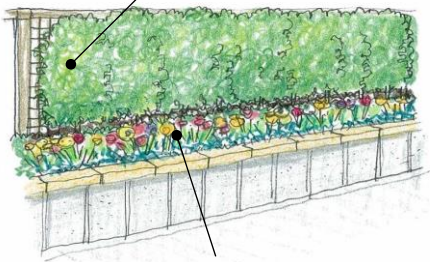
2. 景観形成基準

(1) 建築物の建築等

景観形成基準	
個別基準	歴史景観拠点 地域の特徴を創出する建築形態、素材及び色彩を積極的に取り入れるなど、伝統を感じさせる工夫をし、歴史・文化的資源との調和を図る。 伝統的な屋根の形状、壁の素材、色彩等を取り入れ、歴史・文化的資源との調和を図る 
	沿道沿線景観軸 道路沿いは、壁面の後退等により、ゆとりのある空間や緑化スペース等を確保する。 沿道の景観にうるおいを与える緑化を工夫する ゆとりのある空間を確保する 

(2)工作物の建設等

擁壁、塀、柵等

景観形成基準	
個別基準	里地景観ゾーン・歴史景観拠点 自然素材や、地域に古くから使われてきた形態・意匠、素材及び色彩を取り入れ、歴史・文化的資源や周辺との調和を図る。  歴史・文化的資源と調和する形態・意匠、素材及び色彩とする
	住宅市街地景観ゾーン・商業地景観ゾーン・沿道沿線景観軸・駅周辺景観拠点 - 設置位置の後退等により、歩行者に圧迫感を与えない工夫をする。 - 花壇や生垣の併用など、植栽を有効利用することで、おもてなしやうるおいを感じさせる表情づくりを工夫する。  柵の設置位置を後退させる  柵と生垣の併用 花壇をつくり、おもてなしを感じさせる表情をつくる